

<プレスリリース>

2025 年 5 月 28 日
スペースワン株式会社

防衛省実証事業 多軌道観測実証衛星の打上げ輸送サービスを受注 Space BD と共同で参画



2025 年 5 月 28 日 – 小型ロケットの打上げにより「宇宙宅配便®」の実現を目指すスペースワン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 豊田正和、以下「スペースワン」）は、防衛省が推進する「多軌道観測実証衛星の打上げ」事業において、防衛装備庁より本事業を受託した Space BD 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 永崎将利、以下「Space BD」）と契約を締結し、多軌道観測実証衛星の打上げ輸送サービス業務を担うこととなりました。

契約年月 2025 年 5 月
事業名 多軌道観測実証衛星の打上げ



スペースワン代表取締役社長 豊田正和 のコメント

「本事業において打上げ輸送サービスを担う機会をいただき、大変光栄に存じます。ミッションの確実な遂行に向けて、当社が培ってきた知見と技術を最大限に活用し、全力で取り組んでまいります。本取り組みを通じて、我が国の安全保障への貢献、民間宇宙ビジネスの発展、ならびに持続可能な宇宙利用の実現などに寄与していく所存です。」

以上

お問い合わせ先

スペースワン株式会社 広報担当

Email: info@space-one.co.jp

Space BD 株式会社について

Space BD は、日本の宇宙ビジネスを、世界を代表する産業に発展させることを目指す「宇宙商社®」です。2017 年の創業以来、宇宙への豊富な輸送手段の提供とともに国際宇宙ステーション(ISS)を初めとする宇宙空間の利活用において、ビジネスプランの検討からエンジニアリング部門による技術的な運用支援までをワンストップで提供しています。技術力に立脚した営業力・事業開発力を礎に、多様なキャリアバックグラウンドを持ったメンバーが、宇宙を活用した官民の事業化支援・事業変革、教育分野などに事業を展開しています。

2025 年 4 月現在、衛星取扱い件数約 90 件を含め、約 610 件以上の宇宙空間への輸送実績を重ねています。

<https://space-bd.com/>

スペースワンについて

スペースワンは、小型人工衛星打上げに特化した宇宙輸送サービスを提供しています。和歌山県串本町・那智勝浦町に位置する専用のロケット発射場「スペースポート紀伊：SPK」と、小型ロケット「[カイロス](#)：KAIROΣ」で、2020 年代中に年間 20 機、2030 年代に 30 機の打上げサービスを提供する「宇宙宅配便®」を目指しています。2024 年 3 月にカイロスロケット初号機を打上げ、2024 年 12 月にはカイロスロケット 2 号機の打上げを実施しました。

<https://www.space-one.co.jp/>

スペースポート紀伊について

「[スペースポート紀伊](#)：SPK」は、本州最南端の和歌山県串本町に位置する日本で初めての民間のロケット打上げ射場で、宇宙へのアクセスを最短で実現するための包括的なインフラサービスを提供しています。SPK は、南方と東方に開けた地理的特性を活かし、打上げる軌道やタイミングに柔軟に対応できる点が大きな特徴です。宇宙アクセスへの需要は拡大する宇宙ビジネス市場とともに増加し、多様化しています。今後は多数の小型衛星をひとつのシステムとして運用するコンステレーションが、打上げ需要をさらに加速させる見込みです。このようなニーズに対し、スペースワンは「on time, on orbit」、ユーザーが望むタイミングと軌道で衛星を運ぶことを使命としています。柔軟な対応を可能とする自社専用ロケット射場と小型ロケットを備えることで、国内外のユーザーの需要を取り込み、日本および世界の宇宙産業の発展に貢献していきます。

<https://www.space-one.co.jp/site/>